

平成29年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	環境社会学	担当教員	犬飼利嗣		
学年学科	第5学年 建築学科	後期	必修	1単位(学修)	
学習・教育目標	(D-3 環境系) 100%		JABEE基準1(1):(d)		
授業の目標と期待される効果： 建築技術者が居住環境を論ずる場合、室内環境のみならず、室内環境に多大なる影響を与える外部環境に関する知識も必要となる。環境社会学の授業では、建設環境に対する幅広い知識を修得することを目標とする。 ①持続可能な社会の実現に向けた、建設環境問題に関する知識の習得 ②建設環境問題に対する社会的取り組みへの理解 ③建設環境問題と建設業の関係に対する理解		成績評価の方法： 中間課題100点+定期試験100点 計200点満点とし得点率で評価する。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 各種専門書の内容と同等レベルの問題を試験などで出題し、総合して6割以上の正解率に達していること。 ①建設環境問題の全体像を理解して、現代社会の問題点が整理できる。 ②建設環境問題に対する社会的な取り組みが整理できる。 ③建設環境問題に対し、建設業を担う技術者として今後のあり方が提案できる。			
授業の進め方とアドバイス： 建設環境への理解を深めるため、自発的に情報収集し、自己の考えをまとめること。社会常識といわれる水準に自己を高めること。					
教科書および参考書： 教科書：適宜プリントを配布する					
授業の概要と予定：後期		教室外学修		ALのレベル	
第 1 回：建設環境概論		建設環境問題の現状と課題の概略について理解する。			
第 2 回：建設一般（社会資本整備）		建設白書を理解する			
第 3 回：建設一般（社会資本整備）		建設白書を理解する			
第 4 回：建設一般（暮らし・環境）		建設白書を理解する			
第 5 回：建設一般（暮らし・環境）		建設白書を理解する			
第 6 回：建設一般（防災・減災）		建設白書を理解する			
第 7 回：建設一般（防災・減災）		建設白書を理解する		C	
第 8 回：中間試験					
第 9 回：建設環境（自然環境）		環境白書を理解する			
第10回：建設環境（自然環境）		環境白書を理解する			
第11回：建設環境（生活環境）		環境白書を理解する			
第12回：建設環境（生活環境）		環境白書を理解する			
第13回：建設環境（環境影響評価）		環境白書を理解する			
第14回：建設環境（環境影響評価）		環境白書を理解する		C	
期末試験					
第15回：期末試験模範解答の解説および成績評価の説明、建設環境総論					

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	建設環境問題の全体像を理解して、現代社会の問題点が整理できる(8割以上)	建設環境問題の全体像を理解して、現代社会の問題点がほぼ整理できる(6割以上)	建設環境問題の全体像を理解して、現代社会の問題点が整理できない。
②	建設環境問題に対する社会的な取り組みが整理できる(8割以上)	建設環境問題に対する社会的な取り組みがほぼ整理できる(6割以上)	建設環境問題に対する社会的な取り組みが整理できない。
③	建設環境問題に対し、建設業を担う技術者として今後のあり方が提案できる(8割以上)	建設環境問題に対し、建設業を担う技術者として今後のあり方がほぼ提案できる(6割以上)	建設環境問題に対し、建設業を担う技術者として今後のあり方が提案できない。